

## せつこっこクラブ1月「美人画フクワライ」を開催しました

日 時：平成31年1月20日(日) 午後1時30分～4時

参加人数：子ども7名（3歳1名、年中1名、年長2名、2年生2名、3年生1名）

保護者7名

参加費：無料


職員：長岡、大村

「せつこっこクラブ」は、子どもたちに三岸節子作品や芸術に親しんでもらうため、毎月1回を目安に開催しているワークショップです。

1月20日(日)の「せつこっこクラブ」には、7人のお子さんとその保護者のみなさんが参加。前日からはじまった特別展「美人画 培広庵コレクション展」の関連行事として実施しました。

本展覧会の展示作品は、明治から昭和にかけての美人画。今どきの子どもにはあまり興味がないジャンルかもしれませんが。そのため、お正月らしい遊び感覚を織り交ぜながら楽しく鑑賞してもらおうと、「福笑い」と「おみくじ」の要素を取り入れて企画しました。題して「美人画フクワライ」。

はじめに「右目」「鼻」「口」など、顔のパーツが書かれた「おみくじ」を引き、各自の担当を決めます。次に「培広庵コレクション展」全73作品を鑑賞して自分の担当パーツをじっくり観察し、もっとも美人だと思う作品の担当パーツを模写したあと、あらかじめ職員が用意しておいた大きなのっぺらぼうの美人画の顔に切り貼りしました。

せつこっこクラブ「美人画フクワライ」		だいきらく 大き
おみくじ&ふくわらいシート		
観察する部分 (パーツ)		
右目	上のパーツに注目しながら展示作品を見て、 一番美人だと思う作品のパーツを描き写そう！	
観察した作品の名前		
観察した作品の作者の名前		
観察したパーツ (絵を描く)	※色はしっかり覚えておこう！	



もっとも美人なパーツばかりを集めたからには究極の美人ができるはず・・・ですが、できあがった顔はやっぱり「福笑い」状態。大きな笑いが沸き起こりました。そのあとも同様に「着物」「帯」「花」などが書かれたおみくじを引き、ふたたび「培広庵コレクション展」を鑑賞して各自の担当パーツを観察し、今度は直接描き込みました。

こうして共同制作の巨大な美人画（タテ3m×ヨコ2.5m）が完成。できあがった作品は“74点目の美人画”として、2階ロビーで展示しています。

2時間半と長丁場のワークショップでしたが、保護者のみなさんの協力もあり、全員が最後まで集中力を切らさず取り組むことができました。また、この日はじめて顔を合わせた子たちばかりだったにもかかわらず、お互いに手伝い合う姿も印象的でした。今回のせつっこクラブを通じて、鑑賞の楽しさや強調性の大切さを感じていただけたら嬉しいです。（学芸員補 長岡）

